

# 進路通信

H29年7月6日  
尾上中学校進路指導部  
No. 5

文責：蒔苗 千香子

## 中学校卒業後の進路について

今、社会で問題になっていることのひとつが、せっかく就職したのにすぐにやめてしまう人が多いということです。高校の中退者も一時期に比べれば減少しているものの、まだなくなっているわけではありません。離職も中退もやめる理由の中に、「自分が考えていた仕事(学習内容)と違う」「自分に合わない」というものが多数見られます。せっかく就職したのにやめてしまうという結果になるのは、「幸せな未来」とは言えないのではないのでしょうか。

このような「不幸せ」な状態にならないためには何が必要なのでしょうか。この答えこそ、「進路の学習」にあるのです。職業や学校のことをよく知る・自分のことをよく知る・そして、コミュニケーション能力を身につけることが必要なのです。実は、最も多い離職、中退理由は人間関係です。コミュニケーション能力は、学校生活の中でこそ身につくものなのです。さて、皆さんは卒業後の進路をどのように考えているのでしょうか？今回は、卒業後の進路にはどのようなものがあるのか確認していきましょう。

### 教育課程による分類



#### ●全日制高等学校●

学校で学ぶ時間帯が中学校と同じで、在学期間は3年間です。

#### ●定時制高等学校●

本来働きながら学ぶ生徒のための高等学校で、ほとんどの学校では夜間に学びます。通常は卒業まで4年かかります。この辺では弘前工業高等学校(工業技術科)、尾上総合高等学校(総合学科)があります。(尾上総合高等学校は、I部が1校時から4校時、II部が3校時から6校時、III部が夜間になります。他部と比べてI部の生徒がII部の5、6校時を履修することができ、3年で終わることも可能)

#### ●通信制高等学校●

通信(郵送)による自宅学習が主で、月に数回の登校指導(スクーリング)があります。試験もありますが、レポートに合格し、スクーリングが規定に達していないと試験を受けられません。県立は、尾上総合高等学校、北斗高等学校があります。私立では、東奥学園高等学校、青森山田高等学校があります。

### 設置者による分類



#### ○公立高等学校○

県が設置する高等学校で、普通科の他、各種学科・学校があります。弘前高等学校、弘前中央高等学校、弘前南高等学校、弘前工業高等学校、弘前実業高等学校、黒石高等学校、黒石商業高等学校、柏木農業高等学校などがあります。

#### ○私立高等学校○

個人または団体が学校法人組織で設立し、運営している高等学校です。独自の建学の精神で教育が行われています。宗教系の学校もあります。公立高等学校より学費が高く、入学金を納めるのが一般的です。ただし、県や国から就学支援金があるので、必ずしも県立より高いとは限りません。(所得によって支援金額が変わるため)東奥義塾高等学校、弘前学院聖愛高等学校、柴田女子高等学校、弘前東高等学校などがあります。

### その他の進路

#### ◎就職◎

中学校卒業では、県内では公共職業安定所を通じた就職はほとんどないのが現状です。

#### ◎就職+進学◎

働きながら定時制や通信制の高校に通います。ただし、上記のように、卒業後の県内で就職は難しいとされています。

#### ◎専修学校+進学◎

企業の専修学校、自衛隊高等工科学校で奨学金や給料をもらいながら技術を学び、高校卒業の資格が取れます。就職も保障されています。県外で寮生活になります。